

ヤングアダルト

いつでも会える 菊田まりこ/著
 反自殺クラブ 石田衣良/著
 善悪ってなに？働くなってどんなこと？ 小浜逸郎/著
 君はひとりじゃない 義家弘介/著

しょうせつ

のいちごケーキのたんじょうび ほりなおこ/作
 ウミガメと少年 野坂昭如/著
 源平盛衰記 三田村信行/著
 ペギースー セルジュ・ブリュソロ/著

そのた

せかいのこっき ひかりのくに
 みづかなマーク ひかりのくに
 こども語源じてん 山口佳紀/編
 夢がかなう日 清水久美子/著
 夢はいのち 清水久美子/著
 たまみちゃんの青い海 清水久美子/著
 太朗くんは背番号1 清水久美子/著
 ヒロシくんの車椅子 清水久美子/著
 クマよ 星野道夫/文
 そだててあそぼう レタスの絵本 塚田元尚/編
 つくってあそぼう パンの絵本 片岡芙佐子/編

言語

美人の日本語 山下景子/著
 手紙のある暮らし 主婦と生活社
 やっとかめ！大名古屋語辞典 清水義範/著
 声に出して読んでゃあ名古屋弁 二代目勤勉亭親不孝/著

その他

大人たばこ養成講座 美術出版社
 愛・地球博公式ハンディブック 日本国際博覧会
 絵本が育てる子どもの心 松居直/著
 本はこころのともだち 朝の読書推進協議会/編

児童書

えほん

しろいうさぎとくろいうさぎ ガース・ウィリアムズ/文・絵
 よるくま 酒井駒子/作・絵
 しにがみさん 野村たかあき/作
 ぜったいがっこうにはいかないからね ローレン・チャイルド/作
 宇宙人っているの？ フランクリン・M・ブランリー/文
 国際宇宙ステーション フランクリン・M・ブランリー/文
 おんぶはこりごり アンソニー・ブラウン/作
 大輝くんのくじら 清水久美子/文
 ひかりのなかへ 金子章/作
 ねがいごとをしてごらん やなぎだくにお/やく
 イルカにあいたい こやま峰子/文
 森の絵本 長田弘/作
 ライオンのへんないちにち あべ弘士/文
 ライオンのよいいちにち あべ弘士/文
 ゴリラとあかいぼうし 山極寿一/作
 かぜのでんしゃ 谷内こうた/絵・文
 くもくん いとうひろし/作
 ともだちからともだちへ アンソニー・フランス/作
 雲のてらん会 いせひでこ/作
 だくちる だくちる 阪田寛夫/文
 おじいちゃん わすれないよ ベッテ・ウェステラ/作
 おにいちゃんがいてよかった 細谷亮太/作
 くものこどもたち ジョン・バーニンガム/作
 文字のない絵本 宮川ひろ/作
 岸辺のふたり マイケル・デドク・デュ・ヴィット/作
 勇氣 バーナード・ウエーバー/文・絵
 ジュゴンのくる海 宮里きみよ/文
 あお森へ クレア・A・ニヴォラ/作
 ベドロの作文 アントニオ・スカルメタ/文
 くじらの歌ごえ ダイアン・シェルダン/作
 パリの青い鳥 ヴェロニク・ウィルマン/作
 げんきにおよげこいのぼり 今関信子/作
 ペンちゃんギンちゃん おおきいのをつりたいね 宮西達也/作



図書館カレンダー 5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31

印は休館日です



p.s

絵本をひろげ、無邪気に笑う子どもたちに接していると、社会問題化している青少年犯罪などと言うものが、無縁のような気がするのは私だけの錯覚でしょうか。

相田みつを氏の書に「育てたように子は育つ」と言う言葉があります。その何気ない響きに、親としての行き方と覚悟が問われています。

どんな花の種でも、植えた人間がきちんと育て、時期を待てば、必ず花を咲かせる、子どもも親や学校の先生、地域の大人、社会全てが、慈しみ、愛し、丁寧に育てれば、必ず美しい花を咲かせてくれる。もし花を咲かせることなく、しぼんだり枯れたりする子どもがいれば、それはまぎれもなく大人のせいであり、子どもは被害者だ。夜回り先生こと、水谷修氏の言葉です。親や家庭が悪いと言ってしまふのは簡単だ。しかし親や家庭に恵まれない子どもがいることも事実で、子どもは親を選ぶことができない、とも...。教師を超越した水谷先生の生きざまは、私たち大人へ、きれい事ではすまされない重大さと、責任の大きさ、危機感を失い無関心に流れていたこの鈍感な胸を痛いほどかきむしるのです。

(「夜回り先生」水谷修/著 より)

